

於ては正に尊敬に値するではないか。僕は將來の講習所が偉人を生む事が有つたなら、テ一君は必ず其一人でなくてはならないと信じて居たが、否今でも中ば信じては居るが、運命の神は遂にこの絶倫の精力家をも屈服せしめて、今は郷里の郵便局に味氣ない生活を送らせて居る。之れに就ては又實に通りならざる理由が伏在して居る、テ一君が如何に自己の堅固な主義の下に運命の神と戦つたか、最もよくその消息を知るものは僕の主人であらう。僕はその事實をも序手に次號に於て話して見たい。(六月八日夜稿)

日本水彩畫會横濱支部規定

目的

當支部は業務の傍ら水彩畫を學ばんとするものゝ便宜を計り之が指導をなすを以て目的とす

學科

鉛筆畫、一色畫、水彩畫、並に圖書に關する講話

授業日

毎月一回第一日曜日午前九時より午後四時迄とす

晴天の日は戶外寫生、

雨天の日は靜物寫生、

右の内適宜の時間を計り作品の批評をなす

但し講師の都合に依り時日は變更をなすことあるべし

講師

講師は大下藤次郎先生に依囑す

場所

横濱宮崎町(伊勢山太神宮前)坂本幼稚園を以て會場とす

入學

水彩畫研究の志望確實なるものは何人にも入學を許す

申込所は横濱市英町二ノ十四高島和雄方とす

特典

成績優等なるものは特待生とす

會費

入會の際記名料として金五十錢を納め所費として毎月金五十錢

を納むべし(但し特待生は金十五錢とす)

修業用器具及消耗品は各自の負擔とす

臨時寫生會

會員有志にて毎月第三日曜日隨所に寫生會を催し一般同好者の

來會をも歓迎す(會費金五錢)

時間及場所は其の都度通知すべし

但し會員外の出席希望者は往復葉書を以て申込むべし

以上

四十四年五月

日本水彩畫會横濱支部

幹事 田中太郎吉

同 高島 和雄